

※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

子どもたち一人ひとりに確かな学力を！

子どもたちがつまずきや課題を克服し、「わかった」「できた」と実感できるよう、各学校で取組を進めていきましょう！

1 授業改善に向けた取組

● 「めあての提示」と「振り返る活動」の効果的な実施を

定着が図られてきていますが…

「めあての提示」

一方的な提示になっていないか？

単元名だけの提示になっていないか？

- 「何を学ぶのか」「何を考えていくのか」を「問いの形」などで提示する。
- 提示の**タイミング**を工夫する。

子どもに思考の見通しを持たせることが重要です！

「振り返る活動」

授業の感想のみに終わってしまう…

時間が足りない…

- 「何がわかったか」「何ができるようになったか」を記述させる。
- 文章で記述する場合は…
Ex. ・与えられた書き出しに続けて書く。
・キーワードを押さえながら書く。

教科や単元に応じて、文章、図、計算など多様な方法がある！

● 「校長の授業の見回り」の効果的な実施

- * 参観の視点（子どもの様子、授業規律など）を持って1時限を通じた授業観察を行うことが効果的！
- * 授業者が意欲的に取り組むことができるよう具体的にアドバイスを行うことが大切！（実施にあたっては、校長会作成による「授業参観シート」を参考にしてください。）

● 国の調査官による**授業改善研修会**の実施

子どもたちの実態に応じた習熟度別やTTなど、効果的な少人数指導についての授業公開を伴う実践的な研修会を、国の調査官を招へいし実施します。

- * 詳細は、「平成29年度授業改善研修会【11・12月実施分】の開催について<2次案内>」等で確認を *

It's New!

2 学-Viva!!セットとワークシートの活用

全国学調の結果分析から明らかになった課題に応じて学-Viva!!セットとワークシートを計画的に活用してください。授業における繰り返しの指導、家庭学習、補充学習での活用が効果的！！

<学-Viva!!セット>

	配付時期	趣旨・特徴等
第9弾	12月配付	・全国学調の経年課題に対応 ・授業や冬季休業期間等で活用
第10弾	3月配付予定	・最上級学年への学びにつなげるため、これまでの全国学調結果の課題に対応 ・授業や学年末休業期間等で活用

<ワークシート>

	配信時期	趣旨・特徴等
2回目	11月以降随時配信	・学習指導要領の趣旨・内容を踏まえ、子どもたちのつまずきに対応 ・授業（授業の組み立ての参考にも）、朝の学習や自習時間、家庭学習、補充学習等で活用
3回目	2月配信予定	

教科	開催日	授業公開校
中学校数学	10/31	紀北町立紀北中
小学校算数	11/27	名張市立錦生赤目小
小学校理科	11/29	松阪市立山室山小
中学校国語	12/5	鈴鹿市立天栄中
小学校算数	12/7	川越町立川越南小
小学校算数	12/8	志摩市立志摩小
小学校国語	1/22	亀山市立亀山東小
● 小学校外国語活動	1/30	志摩市立浜島小
● 中学校外国語	2/5	津市立芸濃中

3 家庭学習の支援(宿題用「学-Viva!!セット」の配付)

子どもたちが自主的に家庭学習に取り組めるよう、自分の力で解けるヒントを掲載したワークシート（宿題用「学-Viva!!セット」）を配付しました。

家庭学習だけでなく、ぜひ補充学習でも活用してください！

<ワークシート>

国語 ・漢字 ・言葉の使い方 等	算数・数学 ・四則計算 ・図形の 基礎的な問題 等
----------------------------------	--

4 みえスタディ・チェックの活用による検証と改善

みえスタディ・チェックの自校採点結果を授業改善サイクル支援ネット（以下「支援ネット」という。）に入力すると、設問ごとの自校と県の正答率がリアルタイムに比較できます。

県教育委員会では、設問ごとに対応したワークシートを支援ネットで提供していますので、子どもたち一人ひとりの課題の克服につなげてください。

【実施日】

実施基準日：平成 30 年 1 月 31 日（水）
実施期間：1 月 15 日～2 月 16 日

【実施対象、教科】

実施対象：小学校第 5 学年、中学校第 2 学年
実施教科：国語、算数・数学、理科

5 経年的な課題を克服するための取組

つまずきがあります

●国語 「引用したり要約したりして書くこと」
「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」

●算数・数学 「割合」
「図形」



学習内容における各学年の系統性やつまずきに対応した**指導のポイントを示した資料**を配付しますので、授業改善につなげられるよう、活用してください。

6 家庭・地域への情報発信



家庭・地域に「みえの学力向上県民運動」について周知・啓発を行うため、チラシを配付しました。チラシでは、全国学調の結果概要とともに、子どもたちの学習状況や自尊感情が高まっている一方、スマホの使用時間が長いこと、家庭学習の時間や自主的な読書の時間が短いという状況等を伝え、学校・家庭・地域それぞれの役割に応じた取組を呼びかけています。各学校に児童生徒数分を配付しますので、保護者に生活習慣等の改善の働きかけをお願いします。またデータは県民運動のホームページにも掲載しています。

7 理科のつまずきへの対応

平成 24 年度と 27 年度の全国学調（理科）の結果では、

- ・「実験・観察の技能（実験器具の名称や操作方法等）」
- ・「科学的な用語（蒸発等）」
- ・「濃度、圧力、電気などの計算（質量パーセント濃度の問題等）」

につまずきが見られました。

これらの課題に対応したワークシートを提供しています！

平成 24 年度と 27 年度の全国学調の問題をワークシート化して提供していますので、あわせて活用してください。

1 月実施の第 2 回みえスタディ・チェックは、これまでの課題を踏まえて問題を作成していますので、効果的に活用してください。

「みえ家庭教育応援プラン」に沿って、生活習慣の確立等に取り組んでいます！

「みえ家庭教育応援プラン」は、家庭教育応援のあり方についての基本方針を示すとともに、今後家庭教育の充実に向けて講じることが望ましい取組方策を示すプランで、平成 29 年 3 月に三重県が策定しました。



「みえ家庭教育応援プラン」と連動した学力向上の具体的取組

子どもの生活習慣の確立



◆「みえの親スマイルワーク」の普及

「みえの親スマイルワーク」とは保護者同士が話し合い、気づきを得て、つながり合うことのできるワーク集です。主なワークのテーマは、

- ◎ 親子で早寝・早起き・朝ごはん
- ◎ 宿題ちゃんとしてると思ったのに
- ◎ 運動習慣を身につけよう
- ◎ どうしたら本を読むようになるのかな
- ◎ 子どもがスマホを持ちたいと言ってるんだけど 等です。

三重県総合文化センターでワークの進行役となるスマイルリーダーの養成講座を開催しました。この講座を受講された方が進行役となって、鈴鹿市の小学校や公民館、松阪市の小学校などでスマイルワークが活用されています。

PTA 研修や学級懇談会など保護者の方が集まる機会などにこのワーク集を使用して、子どもの生活習慣の確立に活用してください。

みえの親スマイルワーク見本



ぜひ活用してください！

- ◆生活習慣・読書習慣チェックシート集中取組実施とフィードバック
- ◆みえの地物が一番！ 朝食メニューコンクールの実施

このプログラムの一部でも機会があれば使ってみたい。
(小学校教頭)

悩みを出し合うことでつながり合える。(PTA)

※「みえの親スマイルワーク」は三重県のHPからダウンロードしてご使用ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHOSHIKA/HP/m0074300031.htm>

地域とともにある学校づくり



学校と地域が連携・協働し、地域全体で子どもの成長を支える仕組みづくりに取り組んでいます。

- ◆三重県型コミュニティスクールの推進
- ◆学校支援地域本部の推進
- ◆地域未来塾の実施
- ◆地域の教育力向上のネットワーク構築、支援メンバー等の体制づくり

読書習慣の確立



就学前から読書に親しむことができるよう、また、子ども同士で読書の楽しさを伝えあうことができるように取組を進めています。

- ◆家読の推進
家族みんなで読書に親しむ家読（家庭読書）を推進しています。
- ◆子ども司書の育成
- ◆商業施設等での読書イベント

※楽しみながら読書に親しむことができるよう、新たに作成した「ビンゴカード」で家読の推進を！



「みえ家庭教育応援フォーラム」を開催しました！

三重県、三重県 PTA 連合会、三重県高等学校 PTA 連合会との共催（10 月 14 日）

三重県総合文化センター小ホールで開催し、198名が参加しました。「早寝早起き朝ごはん全国協議会」の委員でもある成田奈緒子さんを講師に招き、子どもの脳の発達に関する研究データなどから睡眠の大切さなどについて講演いただきました。その後のパネルディスカッションでは、保護者、地域の団体、企業、それぞれの立場から、子どもの育ちにどのような関わりが必要か話し合われました。

(参加者の声)

脳の発育のために睡眠がとても重要だということ、科学的に説明していただいて、とても良く理解できました。



学力向上 に向けた

具体的な実践事例

【事例 29】鳥羽市立鏡浦小学校

～自分・なかま・ふるさとを大切に、生きる力を育てる～



確かな学力の定着・向上を目指した取組

「複式授業で主体的・協働的に学ぶ子どもの育成 ～自ら考えを表現し、学び合う授業の確立をめざして～」をテーマに、少人数の特色を生かした授業づくりを推進するとともに、全校体制で学力向上の取組を行っています。

全校体制で基礎基本の力をつける

① 朝の学習を充実！

- (月・水) 活字を読む 読書活動
- (火) 国語・社会科の視写
- (木) ドリル練習(漢字等)
- (金) ワークシート(学-Viva 等)

② 表現力の向上！ランチタイムにスピーチを！

- ・おすすめの本紹介
- ・英語のスピーチ等

③ 学力補充・課題克服！「かがみっ子塾」の開設！

- ・百マス計算やプリント学習
- ・サイクル支援ネットを活用

④ 週末読書の推進！読書の木を育てよう！

- ・ブックラリーの定期開催
- ・読書収穫祭でスタンプカードを活用



「チーム鏡浦」でパワフルに動く ～教師の授業力向上をめざして～

カリキュラム・マネジメントの試み

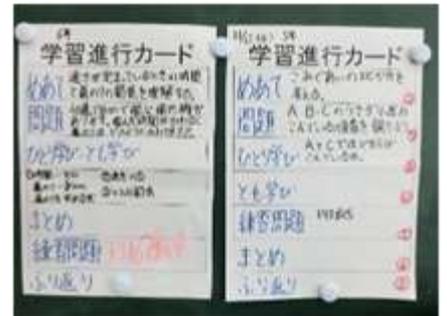
毎月、「表現する力」「聴く力」「見る力」「きたえる力」「考える力」「かかわる力」「想う力」等、どの教科でどんな力をつけていくのかを「かがみっ子〇月の学び」として「見える化」し廊下に掲示。子ども・教師が常にそれを共有し、「チーム鏡浦」で取り組んでいます。

複式授業の充実を図る研究推進

「わたりの時間」にいかにも子どもたちが主体となった「一人学び・とも学び」を展開できるかが重要課題で、確かな教材研究と授業の時間配分がポイントです。また、子どもたちのガイドリーダーへの向上や対話力の向上に関しても「かがみっ子〇月の学び」を活用し、校内研修の中でその成果と課題を検証し、次の月の学びに反映させるようにしています。



<かがみっ子 10月の学び>



<学習進行カード>

【一人学び】→ 課題に対して一人で考えをまとめる学び

【とも学び】→ ペア・グループ・全体学習で考えを交流し合い、自分の考えをさらに深めていく学び

複式授業の中で子どもが授業の流れに沿って進行するガイドリーダーとなり、指導者がいない場合でも学び合いを形成し、主体的な学びの実現を図ります。また、「学習進行カード」で1時間の授業の流れを示すことで、子どもも教師も授業の見通しを立てることができるように、ユニバーサルデザイン化を図っています。

教師の声

子どもたちの変化に毎日とても刺激を受けています。



取り組むべきことを学校全体で共有し、チームで取り組んでいくことの大切さが分かりました。



見え始めてきた成果

- ◆ 学習に対する姿勢、聞く態度等、学習規律の定着。
- ◆ 学校全体で、「チーム鏡浦」としての取り組みに向かう教職員の情報共有。
- ◆ 自分たちで進める授業に充実感を感じる子どもたち(高学年) → **学力の大幅な向上!**



学校長から

学校教育目標を達成するため、複式授業を中心として各授業の充実を図り、子どもたちが主体的・対話的で深い学びを実現していくことをめざしています。これからの複雑な社会を生きぬくためには、状況を判断して、自分で考え、行動していく姿勢が求められます。本校は、上記のような実践に取り組んで2年目を迎えますが、自分たちで進める授業に喜びや充実感を感じることで、自尊心を高め、自分に自信と誇りをもって、元気に生き生きとした学校生活を送れるようになってきた子どもたちの姿を実感しています。子どもたちが、今後の人生を支える力の礎を築くため、私たち教職員は、チーム鏡浦として日々子どもたちと向き合っています。